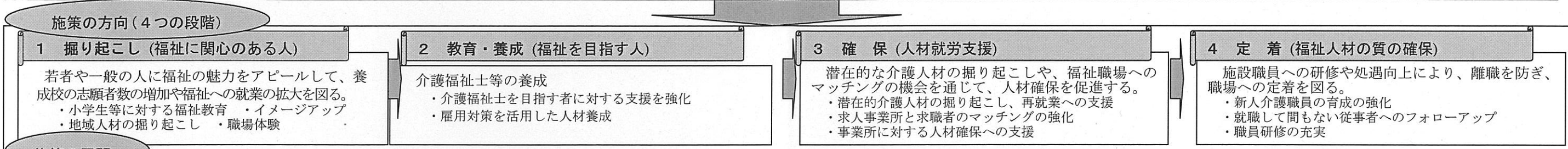


ネットワークの構築

<福祉人材確保対策会議>: 関係機関・団体と連携して、福祉・介護人材確保のための効果的な方策を検討 1,925 千円 (障害基金 10/10)

—構成団体—

- 県介護福祉士会 ○県社会福祉士会 ○県ホームヘルパー協議会 ○県看護協会 ○県老人福祉施設協議会 ○県介護老人保健施設協議会 ○県知的障害者福祉協会 ○県社会福祉施設経営者協議会
- 県介護福祉士養成校協会 ○介護労働安定センター富山支部 ○県若者就業支援センター ○県医師会 ○県婦人会 ○日本青年会議所富山ブロック協議会 ○富山労働局 ○富山公共職業安定所
- 県社会福祉協議会 ○市町村 ○県



施策の展開

① 介護られあい交流・体験事業 1,000 千円 (障害基金 10/10)
小学生やその保護者に福祉の仕事、福祉職場の魅力に触れてもらう
【対象】小学生、保護者、小学校教諭
【内容】介護施設等における交流・介護体験

高校生への福祉職場ガイダンス 675 千円 (障害基金 10/10)
高校生やその保護者、進路指導教諭等に対し、福祉の仕事、福祉職場の魅力を知ってもらう
【対象】高校生、保護者、高校進路担当教員
【内容】専門家等による講演、職場体験

中学校への出前講座 500 千円 (障害基金 10/10)
「14歳の挑戦」への導入教育の一環として、中学生を対象に出前講座を通し、福祉・介護に関する関心や興味を高める
【対象】中学生
【内容】専門家による講義・実演等

② 地域介護デビュー講座の開催 1,000 千円 (障害基金 10/10)
団塊の世代や学生・主婦等に対し、介護技術講座や職場体験等を通し、介護の仕事への理解を深め、施設での就労へのきっかけ作りとする
【対象】団塊の世代、学生、主婦等
【内容】講義、職場体験、就労相談会、面接会等

福祉・介護フォーラム 2,000 千円 (障害基金 10/10)
11月11日の「介護の日」を中心にフォーラムを開催
【対象】一般県民、学生、福祉施設従事者等
【内容】介護体験発表、寸劇、映画上映会等

福祉・介護イメージアップ事業 6,025 千円 (障害基金 10/10)
11月11日の「介護の日」のキャンペーンイベントや介護の仕事のイメージアップを図るCMの作成・放映
【内容】街頭啓発活動、新聞広告等

養成校と高校教諭との担当者会議 100 千円 (障害基金 10/10)
福祉・介護現場における最新状況を教育現場に提供し、養成校と高校との連携を深める
【対象】高校家庭科教諭、進路指導担当教諭
【内容】介護職員・養成校教諭からの報告等

介護福祉士等修学資金貸付事業(県社協事業)
※H20 原資一括交付(179,840 千円)(国補 10/10)
【貸付内容】月額5万円、入学(就職)準備金 20 万円
【貸付枠】25 人
【返還免除条件】介護福祉士として5年勤務

現任介護職員等研修支援臨時事業 26,098 千円
(緊急雇用創出基金 10/10)
介護職員等を研修に派遣する場合に必要な代替職員を雇用
【委託先】介護サービス事業所・障害福祉サービス事業所を運営する法人
【委託期間】平成24年4月～25年3月

外国人介護福祉士受入施設学習支援事業 470 千円
(セーフティネット補助金 10/10)
外国人介護福祉士候補者が介護福祉士国家試験に合格し、円滑に就労できるように、日本語習得や受験対策等の学習に対する支援を実施
【内容】受入施設が実施する候補者の日本語学習や受験対策に必要な経費を助成(1人当たり235千円以内)

介護サービス支援ステーション運営事業
(※128,240千円)(緊急雇用創出基金 10/10)
介護関係施設において失業者等を雇用し、介護スキル及び介護の資格(ホームヘルパー2級、介護福祉士)を取得させる
【委託先】介護サービス事業所・障害福祉サービス事業所を運営する法人

③ 介護人材バンク(再就業支援)事業の実施
1,200 千円(障害基金 10/10)
介護福祉士等の資格を持ちながら就業していない潜在的有資格者を介護人材バンクに登録し、就業に関する各種情報を発信するとともに、再就業のための研修等を実施する
【対象】介護福祉士等の有資格者で、介護分野に就業していない者
【内容】介護分野の最新の情報を発信し、再就業に必要な知識や技術等を確認するや施設等における実務研修の実施

福祉・介護人材マッチング強化事業の実施 6,453 千円
(障害基金 10/10)
健康・福祉人材センターに専門員を配置し、求人ニーズの把握と求職者の適正を確認し、福祉・介護人材の円滑な就労と確実な定着を支援する
【内容】①各公共安定所における助言・相談
②事業所の訪問による求人の開拓等

福祉職場説明会の開催 1,819 千円
(セーフティネット補助金 1/2)
求人事業所と求職者のマッチングの機会を増やし、採用活動を促進する
【対象】求人事業所及び求職者
【内容】職場説明会を年3回開催

潜在的介護従事者等就業支援事業 32,810 千円
(緊急雇用創出基金 10/10)
介護福祉士やホームヘルパー2級等の介護に関する資格を持ちながら、介護福祉施設等に就労していない失業者等を雇用し、実務経験を付与し、潜在的な介護人材の就労・確保を支援する。
【委託先】介護サービス事業所・障害福祉サービス事業所を運営する法人

④ 新人介護職員指導体制整備モデル事業の実施
2,000 千円(障害基金 10/10)
新人介護職員の育成について優良な施設をモデル施設として認定し、他の施設に対し、新人指導体制に関する事例報告会や指導者講習会を開催すること等により、新人指導体制の整備を促進し、新人介護職員の離職率を改善する
【内容】事例報告会や指導者講習会の開催(年4回)

新任介護職員フォローアップ研修会 1,224 千円
(障害基金 10/10)
【対象】就業3年未満の介護職員
【内容】腰痛防止やメンタルヘルス等の講義、意見交換会

新任介護職員基礎研修会の開催 1,224 千円
(障害基金 10/10)
【対象】介護分野に初めて就業した新任の介護職員
【内容】新任介護職員に対する介護サービスの基本的な知識・技術等の習得に係る研修の実施(年4回)

介護職員スキルアップ研修会の開催 612 千円
(障害基金 10/10)
【対象】介護施設に就業している介護職員
【内容】介護職員に対する介護サービスの専門的な知識・技術向上のための研修の実施(年2回)

腰痛予防研修の実施 1,358 千円 (障害基金 10/10)
【対象】現任介護職員
【内容】腰痛予防のために必要な知識や技術に関する研修の実施(年5回)

キャリアアップ支援研修の実施 3,918 千円 (障害基金 10/10)
【対象】介護事業所に従事する介護職員等
【内容】介護技術等の向上を図る合同研修会の実施(8団体)

中堅リーダーの養成 3,539 千円 (県単)
【目的】仕事のノウハウの伝授や若手の相談に乗ることができる中堅職員の養成を図る
【内容】福祉カレッジにおいて、より実践的な指導ができる専門講師を活用した出前研修の実施